

# 国際情勢等を踏まえたユネスコ活動等の推進についての提言（案）

## 趣旨

現下の国際情勢等を踏まえ、ユネスコの普遍的な使命を再確認するとともに、ユネスコに対する日本政府の関与及び国内のユネスコ活動の在り方について提言



## 現下の国際情勢等

- ロシアのウクライナ侵略や、イスラエル・パレスチナ情勢等、国際平和を脅かす事態による国際社会の分断
- 「グローバル・サウス」の発言力の高まり等による国際的な合意形成の複雑化
- 地球規模の課題の解決のための国際社会の連携の必要性
- ユネスコ科学分野の先端・新興領域における技術の規制・活用に関する議論への注目
- デジタル化の進展と偽情報・情報格差等の問題の顕在化

## ユネスコの普遍的な使命

- 「戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」（ユネスコ憲章前文の冒頭）
- 平和及び安全に貢献するための、教育・科学・文化の重要性を改めて理解することが必要（前文全体を再確認）
  - 平和の構築、貧困の撲滅、持続可能な開発及び文明間の対話に取り組むことが普遍的な使命であることを再確認することが必要 等

## 提言 1：ユネスコに対する日本政府の関与の在り方

### 戦略的かつ積極的な関与を通じた日本のリーダーシップの発揮

- 国際情勢を受けた適切な支援の実施
- 日本人専門家等の知的貢献によるユネスコにおける議論の主導
- ユネスコに対する戦略的かつ積極的な人的貢献の強化
- ユネスコに対する戦略的支援の実施

## 提言 2：国内のユネスコ活動の在り方

### ユネスコ活動のネットワークの活性化及び広報の強化

- ユネスコ活動における多様なネットワークの活性化
- ユネスコ活動の認知度向上のための効果的な発信を通じた広報の強化
- ユース（若者）によるユネスコ活動の促進
- ユネスコ登録事業等における実施者の主体的かつ継続的な取組